

目 次

1	平成19年度の博物館運営	
■	事業の概要 ● 日誌抄	2
■	統計資料 ● 予算・決算 ● 月別入館者数	3
	● 各事業参加者数 ● 博物館利用者数	
■	出版活動 ● 出版物 ● 図書販売実績	4
■	施設管理 ● 第2展示室利用状況	5
■	流山市立博物館協議会	
2	展示公開事業	
■	企画展「流山庚申塔探訪」	6
■	企画展関連事業	7
■	企画展「ちょっと昔の暮らし」	8
■	ミニ企画展 ● 第九演奏会写真展	10
	● アンコール流山庚申塔探訪パネル展	
3	教育普及事業	
■	ふるさと入門講座 ● 「考古学コース」 ● 「石仏コース」	11
	● 「流山今は昔コース」	12
■	博物館子ども教室	13
■	博物館実務実習生の受入れ	14
■	講師派遣	
4	調査研究事業	15
●	「庚申塔調査研究」 ● 「ちょっと昔の暮らし」	
●	「電化製品のある暮らし」 ● 「板碑調査研究」 ● 「石仏調査研究」	
5	市史編さん事業	
■	市史編さん審議会	16
■	市史編集委員会	
■	教育普及事業 ● 古文書講座	
■	調査研究事業 ● 古文書の解読 ● 文献史料の公開準備	17
6	収集保管事業	
■	新収蔵資料	18
■	二次資料 ■ 資料の館外貸出	19
■	資料の撮影・転載許可	20
7	協力事業	
●	近藤勇忌 ● 利根運河まつり ● 小林一茶まつり	21
8	流山市立博物館のあらまし	
■	設置の目的 ■ 沿革	22
■	施設概要	24
■	設備概要	25
■	平成19年度博物館組織 ■ 流山市立博物館協議会委員	26
■	流山市史編さん審議会 ■ 市史編集委員会 ■ 職員 ■ 臨時職員	27
9	一茶双樹記念館利用状況	28
10	杜のアトリエ黎明使用状況	29
11	博物館友の会活動状況	30

1 平成19年度の博物館運営

■ 事業の概要

第1回企画展では「流山庚申塔探訪」を開催し、関連事業としてスライドショーを行った。

第2回企画展では、昨年度に引き続き「ちょっと昔の暮らし」を開催した。

これは小学校4年生の社会科単元「きょうどにつたわるねがい」で、100年くらい前から現在に至るまでの道具や暮らしの移り変わりを学習するのに対応した展示である。

ミニ企画展として、市制施行40周年記念「流山市第九演奏会までの日々を追って」と題して、平成19年12月に行われた流山市第九演奏会を記録した写真展及び「アンコール流山庚申塔探訪パネル展」を第2展示室で開催した。

教育普及事業では、ふるさと入門講座として3コース「考古学コース」・「石仏コース」・「流山今は昔コース」を実施し、さらに、学校週5日制に伴う余暇利用の一貫として「博物館子ども教室」（茶道教室・絵画教室・どんぐり笛づくり等）を開催した。また、博物館案内パンフレットを発行し、催し物スケジュールを掲載した。

収集保管事業では、市民から民俗資料等22件198点の寄贈を受け入れた。

調査研究事業では、当該年度の企画展の調査をはじめ、板碑調査を実施した。

市史編さん活動事業では、市内史跡巡り・古文書講座などを実施した他、市史研究第20号刊行及び館内古文書の整理作業を引き続き実施した。

● 日誌抄

4月14日	子ども絵画教室	10月31日	防災訓練
5月11日	市史編さん審議会	11月29日	市史編さん審議会
5月20日	子ども勾玉づくり教室	12月2日	子ども絵画教室
5月25日	博物館協議会	12月22日	ミニ企画展～（1/20） 「第九演奏会写真展」
6月10日	子ども貝輪づくり教室	1月12日	子ども勾玉づくり教室
7月15日	古文書講座（全4回）	1月29日	博物館協議会
7月15日	第1回企画展～（9/17） 「流山庚申塔探訪」	2月1日	ミニ企画展～（2/28） 「アンコール流山庚申塔探訪パネル展」
7月22日	子ども竹細工教室	2月9日	「考古学コース」（全4回）
8月11日	子どもアングインづくり教室	2月10日	子どもどんぐり工作教室
8月19日	「石仏コース」（全4回）	3月13日	市史編集委員会
8月19日	企画展関連事業	3月16日	子どもアングインづくり教室
9月2日	企画展関連事業		
9月8日	子ども茶道教室		
9月22日	「流山今は昔コース」 （全4回）		
10月2日	第2回企画展～（11/25） 「ちょっと昔の暮らし」		
10月7日	子ども勾玉づくり教室		
10月28日	子どもどんぐり笛づくり教室		

■ 統 計 資 料

●予算・決算

(単位：円)

事業名	予算額	事業名	予算額
	決算額		決算額
博物館事務管理事業	2,255,000	一茶双樹記念館及び 杜のアトリエ黎明指定管 理者事業	11,920,000
	2,141,979		11,800,000
博物館活動事業	9,485,000	杜のアトリエ黎明維持 管理事業	519,300
	8,681,703		518,472
博物館施設管理事業	12,866,500	市史編さん活動事業	1,417,000
	11,786,155		1,188,936
一茶双樹記念館 維持管理事業	328,950	流山の歴史刊行事業	1,861,000
	322,930		1,018,463
		合 計	40,652,750
			37,458,638

※職員の人件費は上記予算に含まない。

●月別入館者数

区分 月	個 人	団 体		計
		入館者数	団体数	
4月	1,581人	254人	4団体	1,835人
5月	1,251人	309人	3団体	1,560人
6月	1,809人	287人	2団体	2,096人
7月	3,584人	0人	0団体	3,584人
8月	4,112人	32人	1団体	4,144人
9月	3,015人	122人	2団体	3,137人
10月	2,738人	551人	7団体	3,289人
11月	2,157人	258人	3団体	2,415人
12月	1,490人	18人	2団体	1,508人
1月	1,370人	46人	1団体	1,416人
2月	1,331人	0人	0団体	1,331人
3月	2,302人	206人	3団体	2,508人
合計	26,740人	2,083人	28団体	28,823人

●各事業参加者数

- 企画展関連事業「流山庚申塔探訪スライドショー」 30人
- ふるさと入門講座「考古学コース」全4回 147人
- ふるさと入門講座「石仏コース」全4回 249人
- ふるさと入門講座「流山今は昔コース」全4回 165人
- 博物館子ども教室 全12回 245人
- 「古文書講座」全3回 97人

●博物館利用者数 ＊月別入館者数と各事業参加者数合計 29,756人

■ 出 版 活 動

●出版物

名 称	判	頁	部数
『流山市立博物館年報 No.29』	A 4	3 0	3 5 0
『聞き書き 電化製品のある暮らし』	A 4	1 4 4	6 0 0
調査研究報告書 25『懐かしの流山Ⅱ～風景の今昔～』	A 4	9 6	7 0 0
『流山市史研究 第20号』	A 5	6 9	3 0 0

●図書販売実績

書 名	頒価	販売数	書 名	頒価	販売数
4 流山の絵馬と額	1,260	1	流山市史研究 第4号	1,150	—
6 流山の職人	1,470	1	流山市史研究 第5号	1,260	2
7 流山の農業	840	1	流山市史研究 第6号	1,150	—
8 流山の講	1,360	8	流山市史研究 第7号	1,260	4
9 流山の衣生活	1,050	—	流山市史研究 第8号	1,150	1
10 河川と流山	1,360	6	流山市史研究 第9号	1,150	—
11 流山の屋敷神	1,470	8	流山市史研究 第10号	1,260	1
12 流山の道	1,260	8	流山市史研究 第11号	1,150	2
13 流山糧秣廠	1,050	2	流山市史研究 第12号	1,050	2
16 不思議	1,360	4	流山市史研究 第13号	1,050	1
17 下総のはにわ	520	8	流山市史研究 第14号	1,050	—
18 流山と自転車	580	1	流山市史研究 第15号	1,050	3
19 中野久木谷頭遺跡	900	4	流山市史研究 第16号	730	3
20 吉野誠の世界	600	9	流山市史研究 第17号	500	—
21 流山の醸造業Ⅰ【資料編】	1,260	13	流山市史研究 第18号	500	3
22 流山の醸造業Ⅱ【本文編】	1,150	16	流山市史研究 第19号	320	36
23 博物館でタイム・トリップ	710	48	流山市史研究 第20号	300	2
24 流山庚申塔探訪	1,330	146	流山市史 八木村誌	4,200	—
25 懐かしの流山Ⅱ	700	10	流山市史 流山町誌	4,200	2
聞き書き 流山の野菜作り	340	8	流山市史 新川村文書	4,200	—
聞き書き電化製品のある暮らし	380	18	流山市史 利根運河	5,250	2
常設展示図録	560	45	流山市史 近世資料編Ⅰ	5,250	—
展示図録(第2集)	520	—	流山市史 近世資料編Ⅱ	5,250	—
館蔵品図録	1,050	—	流山市史 近世資料編Ⅲ	6,300	1
館蔵品図録Ⅱ	1,050	—	流山市史 近世資料編Ⅳ	6,300	1
流山のむかし	500	90	流山市史 近世資料編Ⅴ	6,300	1
流山市文化財マップ	300	28	流山市史 近世資料編Ⅵ	4,720	1
笹岡了一人と画業の軌跡	730	2	流山市史 植物編	4,200	1
テレホンカード	800	2	流山市史 民俗編	6,300	3
メモパッド	100	133	流山市史 文化財編	4,200	2
流山市史研究 第2号	840	1	流山市史 通史編Ⅰ	2,620	7
流山市史研究 第3号	1,050	1	流山市史 通史編Ⅱ	2,500	6

* 絶版非掲載

■施設管理

●第2展示室利用状況

企画展等で利用していない時は、市民の芸術活動を支援するため、無料で貸出しをしている。

利用期間	主催者	利用内容	期間内 入館者数
4月17日～5月20日	博物館子ども教室 参加者	子ども絵画教室の作品展	2,167人
3月4日～3月9日	流山の風景を描く会	油絵・水彩画展	863人
3月22日～3月30日	生涯学習課	三輪野山貝塚出土品展	751人
合 計			3,781人

7月15日～ 9月17日 第1回企画展「流山庚申塔探訪」 65日間
 10月 2日～11月25日 第2回企画展「ちょっと昔のくらし」 55日間
 12月22日～ 1月20日 ミニ企画展「第九演奏会写真展」 30日間
 2月 1日～ 2月28日 ミニ企画展「アンコール流山庚申塔探訪パネル展」 28日間
 合計178日間は主催事業で使用



▲第2展示室

■流山市立博物館協議会

博物館長の諮問機関である「流山市立博物館協議会」の会議を開催し、博物館活動に伴う基本的事項について協議した。

平成19年度は、5月25日(金)、1月29日(火)の計2回開催した。

2 展示公開事業

■ 企画展「流山庚申塔探訪」

開催期間＝平成19年7月15日（日）～平成19年9月17日（月・祝）
観覧者数＝8, 114人

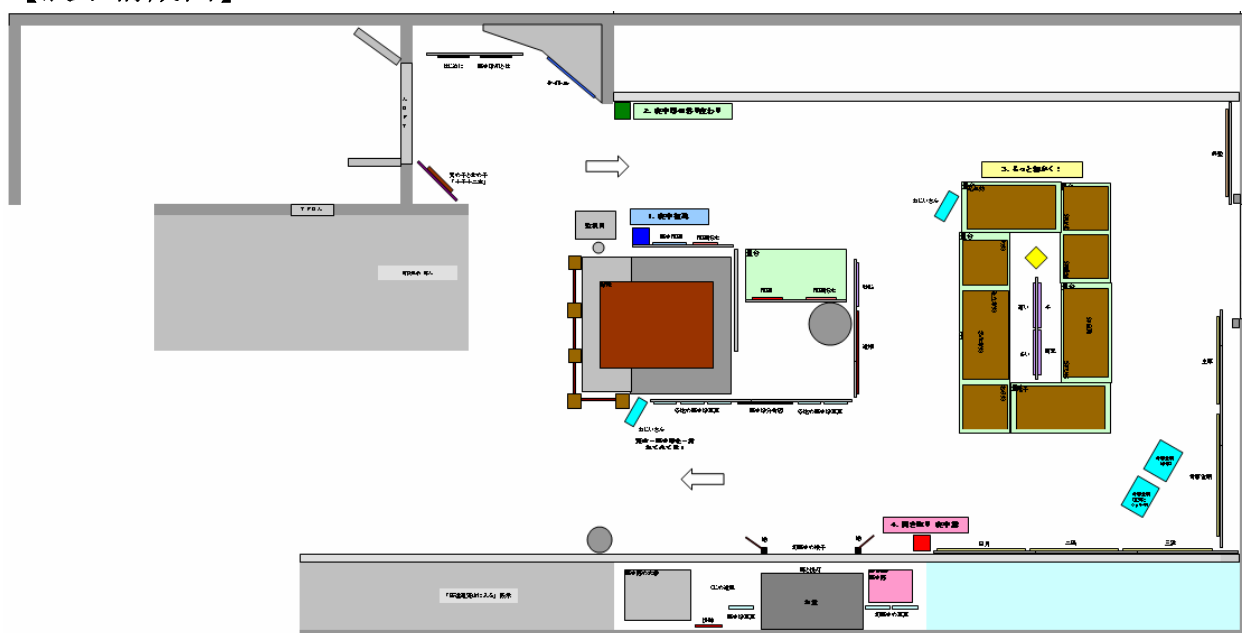
開催趣旨

庚申塔は流山市内で最も多い江戸時代の石仏である。その数の多さから、いかに江戸時代に庚申信仰が流行していたかがうかがえる。また庚申塔は信仰や民俗ばかりでなく、地名をはじめいろいろな当時の様子を教えてくれる身近な文化財でもある。博物館では市内所在の庚申塔を調査し、企画展を開催した。貴重な文化財である庚申塔を知り、見直す機会になるように実物を含め写真やパネルで紹介した。



▲展示状況

【展示構成図】





▲展示状況

■ 企画展関連事業 「流山庚申塔探訪」スライドショー

企画展「流山庚申塔探訪」の開催期間中に、流山市内を6地区に分け、地区別に庚申塔を紹介するスライドショーを実施した。2回とも内容は同じであり、ふるさと入門講座「石仏コース」第4回（9月16日）の中でも同様の内容の発表を行った。

解説は「庚申塔を調査し隊」が行った。「庚申塔を調査し隊」はふるさと入門講座「石仏コース」の受講生（一般市民）のうち、現地調査活動希望者が集まり活動をしたものである。

〔スライドショーの構成〕

- 第1区 運河駅周辺
- 第2区 江戸川台駅周辺
- 第3区 初石駅周辺
- 第4区 流山セントラルパーク
駅周辺
- 第5区 流山・鰯ヶ崎駅周辺
- 第6区 豊四季・南柏駅周辺

実施日：8月19日（日）

9月2日（日）

解説：庚申塔を調査し隊

参加者数：第1回 19名

第2回 11名



▲スライドショー メンバー紹介の様子

■ 企画展「ちょっと昔の暮らし」

開催期間＝平成19年10月2日（火）～平成19年11月25日（日）
観覧者数＝5,537人

開催趣旨

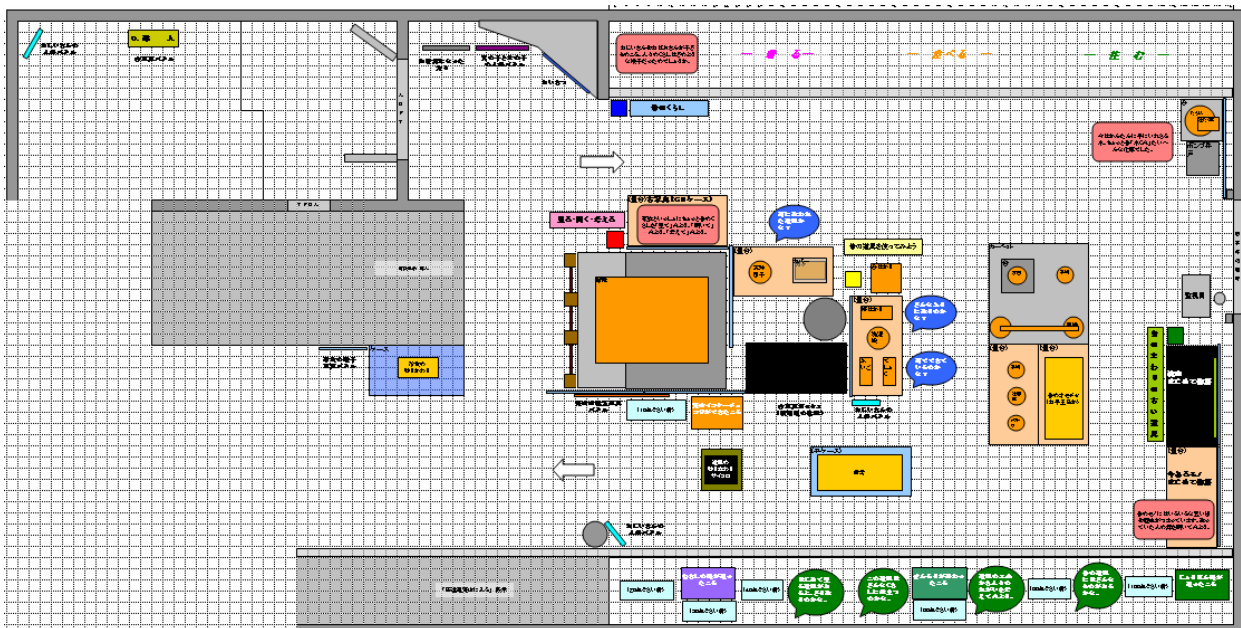
小学校4年生は社会科単元「きょうどにつたわるねがい」で、100年くらい前からの生活の移り変わりを学習する。当館では、この時期に100年くらい前の民具や写真を展示し、学習の手助けができればと考え、企画展「ちょっと昔の暮らし」を開催している。毎年少しずつ構成や資料を替え、今回が7回目である。この企画展には、市内外の小学生が団体で来館し、昔の民具の見学や体験などを通じ学習をしている。

また、一般市民に対しても流山市の100年くらい前からの歴史を理解することはもとより、展示資料を通じて世代間交流の場を目指した。



▲展示状況

【展示構成図】





▲展示状況



▲資料に触れることができるコーナー



▲企画展にあわせて新収蔵資料である 酒店の懐かしい用具も博物館入口に 展示した

■ ミニ企画展

●「第九演奏会～演奏会までの日々を追って～」写真展

開催期間＝平成19年12月22日(土)～平成20年1月20日(日)

観覧者数＝1,413人

開催趣旨

平成19年12月に開催された市民公募による第九演奏会の発会式から演奏会本番までの全記録を追った写真及び映像を展示し、流山市における芸術文化を紹介する企画展示を、同演奏会実行委員会の協力により実施した。



▲展示状況

●アンコール「流山庚申塔探訪」パネル展

開催期間＝平成20年2月1日(金)～平成20年2月28日(木)

観覧者数＝1,331人

開催趣旨

第1回企画展「流山庚申塔探訪」は8,000人を超す入場者で好評のうちに終了した。その時に作成したパネルが多数あり、実物資料を展示しなくても、流山市内の江戸時代の様子を教えてくれる庚申塔について紹介することができるため、パネル展示により市内の庚申塔を紹介した。



▲展示状況

3 教育普及事業

■ ふるさと入門講座

● 「考古学コース」

中近世の考古学への入門をはじめ、近年の考古学の成果を学び、地域の歴史を学ぶ方法や、生涯学習の楽しみを知る一助とした。

(敬称略)

回	期日	講 師	演 題	参 加 者 数
1	2月9日(土)	石崎 悠文(博士)	中近世考古学入門	46人
2	2月23日(土)		中近世東葛飾の拠点	34人
3	3月8日(土)		房総に来たドンロドリゴ	39人
4	3月22日(土)		中近世と現代の流山	28人
			参加人数合計	147人

● 「石仏コース」

企画展に関連して、庚申塔についてを主軸に学び、石仏をとおして地域の歴史や民俗、地域の歴史を学ぶ方法、生涯学習の楽しみを知ってもらう目的で開催した。

(敬称略)

回	期 日	講 師	演 題	参 加 者 数
1	8 月 19 日 (日)	台東区文化財保護調査員 伊藤 宏之	板碑にみる庚申信仰	7 0 人
2	9 月 2 日 (日)	慶應義塾大学准教授 石神 裕之	江戸時代の庚申塔 1・かたち	6 6 人
3	9 月 9 日 (日)		江戸時代の庚申塔 2・銘文	5 7 人
4	9 月 16 日 (土)		流山の庚申塔	5 6 人
			参加人数合計	2 4 9 人

●「流山今は昔コース」

「小金牧と流山」というテーマのもと、江戸時代の牧の遺構として市内でもみることのできる野馬土手を中心に、小金牧と流山との関わりを考察した。

(敬称略)

回	期 日	講 師	演 題	参 加 者 数
1	9 月 22 日（土）	地方史研究家 青木 更吉	流山の野馬土手と新田開発	5 1 人
2	9 月 29 日（土）		オランダ観音と犬落とし穴	4 4 人
3	10 月 6 日（土）		野馬捕りと捕込	3 7 人
4	10 月 13 日（土）		吉野家日記に見る牧の人足	3 3 人
			参加人数合計	1 6 5 人



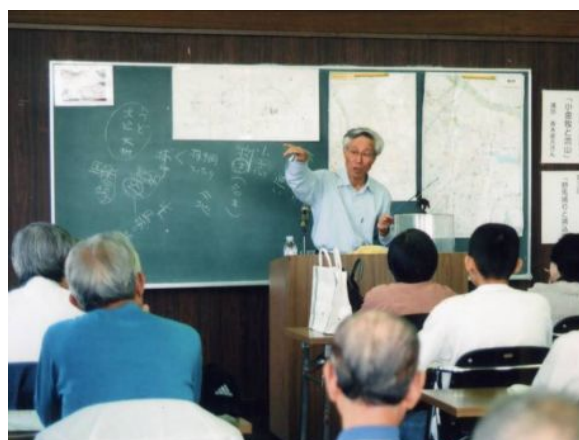
▲石仏コース (第1回)



▲石仏コース (第2回)



▲考古学コース



▲流山今は昔コース

■ 博物館子ども教室

学校週5日制に対応するため、市内在住の小中学生を対象として、「茶道教室」「絵画教室」「アンギンづくり」等を毎月1回実施した。

回	期 日	講 師	内 容	参加者数
1	4月14日(土)	教育研究企画室職員	絵画教室	26人
2	5月20日(日)	博物館職員	勾玉づくり	21人
3	6月10日(日)	博物館職員	貝輪づくり	23人
4	7月22日(日)	博物館職員	竹細工教室	39人
5	8月11日(土)	博物館職員	アンギンづくり	12人
6	9月8日(土)	流山市茶道親和会	茶道教室	18人
7	10月7日(日)	博物館職員	勾玉づくり	17人
8	10月28日(日)	博物館職員	どんぐり笛づくり	24人
9	12月2日(日)	教育研究企画室職員	絵画教室	23人
10	1月12日(土)	博物館職員	勾玉づくり	16人
11	2月10日(土)	博物館職員	どんぐり工作	16人
12	3月16日(日)	博物館職員	アンギンづくり	10人
参 加 人 数 合 計				245人



▲貝輪づくり



▲竹細工教室

■ 博物館実務実習生の受入れ

平成19年度の博物館実習生は、8月23日から8月31日までの6日間、実習生7名を受け入れた。

博物館実務実習日程表

期 日	実 習 内 容
8月23日	ガイダンス・博物館活動概説・館内案内
8月24日	収集保管事業
8月28日	調査研究事業
8月29日	調査研究事業
8月30日	調査研究事業
8月31日	施設点検

博物館実務実習生一覧

NO	大 学 名	学 部 名	学 年	性別	居住地
1	聖徳大学通信	人文学部	4	男	野田市
2	筑波大学	第二学群	4	女	流山市
3	東洋大学	文学部	4	男	野田市
4	聖徳大学通信	人文学部	4	女	我孫子市
5	東京成徳大学	人文学部	4	女	柏市
6	日本女子大学	文学部	4	女	流山市
7	東京農業大学	農学部	4	女	流山市

■ 講師派遣

市民を中心とした団体及び学校等からの要請により、職員を講師として派遣した。

実 施 日	派 遣 先	内 容	人数
4月25日（水）	長崎小学校	縄文体験講義	55
5月 9日（水）	流山史跡探訪友の会	一茶双樹・醸造業について講義	27
5月20日（日）	松の実保育園	史跡めぐり ～流山市街～	32
6月 6日（水）	流山史跡探訪友の会	新選組について講義	23
6月21日（木）	ゆうゆう大学	流山の近代史	70
7月10日（火）	流山史跡探訪友の会	一茶双樹・近藤勇陣屋跡現地解説	16
8月 3日（金）	千葉県教育研究会	史跡めぐり ～流山市街～	32
8月 9日（木）	公民館講座	新選組について講義	29
9月26日（水）	小山小学校	古い道具と昔の暮らし	41
10月2日（火）	小山小学校	古い道具と昔の暮らし	20
11月 7日（水）	流山史跡探訪友の会	運河・古墳について講義	16

4 調査研究事業

●「庚申塔調査研究」

前年度に『流山庚申塔探訪』の刊行を終え、平成19年度第1回企画展「流山庚申塔探訪」の開催に向け、「石仏を調査し隊」とともに、庚申塔調査を行い、企画展の充実を図った。

期間＝4月～7月

●「ちょっと昔の暮らし」

平成19年度第2回企画展「ちょっと昔の暮らし」の開催に向け、100年くらい前からの民具や玩具を対象として調査研究を行い、企画展の充実を図った。

期間＝4月～10月

●「電化製品のある暮らし」に関する聞き書き

流山市立博物館ボランティア「聞き書きの会」のメンバーとともに、報告書の刊行に向けて、調査研究を行った。

期間＝4月～7月

●「板碑調査研究」

平成21年度第1回企画展に向けて板碑調査を行った。

期間＝4月～3月

●「石仏調査研究」

「庚申塔を調査し隊」が企画展「流山庚申塔探訪」の後、「石仏を調査し隊」と名称をかえ、市内の石仏の調査を月に1回行った。

期間＝10月～3月

5 市史編さん事業

■ 市史編さん審議会

市史編さん事業の推進にあたり、市史編さん事業に対する要望や意見を広く求め、その方向性を検討するため市史編さん審議会を開催した。平成19年度は、5月11日（金）・11月29日（木）の計2回を実施した。

■ 市史編集委員会

平成21年度刊行予定の『流山の歴史』に係る編集委員会を「流山市史編集委員会設置要綱」に基づき組織し、平成20年3月13日委員委嘱式及び第1回委員会を開催した。（任期：平成22年3月31日まで）

■ 教育普及事業

● 「古文書講座」

初心者を対象として開催し、古文書解読の基礎を習得した。（敬称略）

回	期 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
1	7 月 1 5 日（日）	台風接近により中止		野田市立郷土博物館 学芸員 猪股 寛	—
2	7 月 2 9 日（日）	中央図書館会議室	解読入門 1		36 人
3	8 月 1 2 日（日）		解読入門 2		32 人
4	8 月 2 6 日（日）		解読入門 3		29 人
				参加人数合計	97 人



▲ 講座風景

■ 調査研究事業

● 古文書の解読

寄贈・寄託・借用の収蔵文書の解読を継続して進めている。

現在、総点数 22,430 点のうち、7,239 点の解読を終えた。

● 文献史料の公開準備

博物館で収集・保管している文献史料を web 上に公開する準備として、史料のデータベース化を進めた。

作業内容としては、史料整理期間が長期間であったため、その整理作業時期により違いの生じている史料目録の項目を統一化して通年で整理をしている。

なお、web 公開については、画像のデジタル化及び解読文のテキスト化等の作業が必要となる他、県内他町村との公開様式統一の課題が残るが、県内の公開決定時に即対応できるように作業を進めている。



流山市史編集委員会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、流山市史編集委員会（以下「編集委員会」という。）の設置に関し、必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 流山市史（以下「市史」という。）の編集業務の適正な実施を図るため、流山市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に編集委員会を置く。

2 編集委員会は、作成しようとする市史ごとに設置する。ただし、編集の効率上必要があるときは、既に設置された編集委員会をもって兼ねることができる。

(所掌事務)

第3条 編集委員会は、執筆原稿の編集を行い、市史の原案を作成し、教育委員会に提出する。

(組織)

第4条 編集委員会は、編集委員をもって組織する。

2 編集委員は、執筆者とする。

3 前項に掲げる者のほか、専門的見地からの指導及び助言を得るため必要があるときは、監修者及び専門的知識を有する者を編集委員に加えることができる。

4 編集委員は、教育委員会が委嘱する。

(任期)

第5条 編集委員の任期は、市史を刊行するまでの間とする。

(会長)

第6条 編集委員会に会長を置く。

2 会長は、編集委員の互選により定める。ただし、監修者を委嘱した場合は、監修者が会長となる。

(会議)

第7条 編集委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 会議は、編集委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。ただし、特定の専門分野については、執筆者及び専門的知識を有する者により会議を開催することができるものとする。

3 会議の議事は、出席編集委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(会議録)

第8条 事務局は、会議録を作成し、市史刊行後、5年間保存する。

(事務局)

第9条 編集委員会の事務局は、流山市立博物館に置くものとする。

附 則

この告示は、平成19年4月1日から施行する。

6 収集保管事業

■ 新収蔵資料

受贈資料一覧

No.	受入日	資 料 名	点数	寄贈者名（敬称略）
1	H19. 4. 4	エリアマップ（流山市）	1	川根 正教
2	H19. 5. 16	タバコ盆	1	浦川 治郎
3	H19. 6. 26	流山駅スタンプ・時刻表他	1 1	大倉 秀之
4	H19. 6. 26	裁縫新教科書他	1 2	大田 みき
5	H19. 8. 9	扇風機	1	田中 佳代
6	H19. 8. 14	磁器・陶器	7	平柳 文子
7	H19. 9. 21	衣料切符・町役場封筒他	7	大塚 愛子
8	H19. 9. 21	鍛冶職用万力	1	秋谷 敏文
9	H19. 10. 3	つるべ井戸用滑車	1	友枝 芳明
10	H19. 10. 3	秤 錘	1 0	北本 節子
11	H19. 10. 4	カメラ・ストロボ・露出計他	3 6	松永 伶司
12	H19. 11. 8	裁ち板・針箱	2	田中耕二郎
13	H19. 11. 30	ムエンカマド	1	宮崎 静枝
14	H19. 12. 11	着物・火鉢・つづら・古銭他	5 5	加藤 弘子
15	H20. 1. 23	竿ばかり他	2	中西 俊子
16	H20. 1. 31	千葉県東葛飾郡誌他	5	吉場 豊晃
17	H20. 2. 1	唐箕	1	坂上 裕一
18	H20. 2. 1	テープレコーダー他	9	安武 英一
19	H20. 2. 6	空中写真	1	北条ヨシ子
20	H20. 2. 8	写真	2 1	加藤 弘子
21	H20. 2. 13	買い物かご・電気ポット他	1 0	岡村 純好
22	H20. 2. 29	土器片・石器片・貝殻	3	永野 明男

計 2 2 件 1 9 8 点

■ 二次資料

購入図書 30冊

受贈図書類 718点（図書 715点 CD-ROM 1点 DVD 2点）

■ 資料の館外貸出し

博物館資料館外貸出状況

No.	貸出期間	資料名称	点数	貸出先	事由
1	H19.5.1～ H20.3.31	秋元松子画 「枯れた花」「残花」「花によせて」	3	北部地域図書館	展示
2	H19.8.1～ H19.8.26	笹岡了一画 「於東葛飾流山」	1	流山市美術家協会	展示
3	H19.8.17～ H19.8.31	鰯ヶ崎三本松古墳古塚碑拓本 鰯ヶ崎三本松古墳出土人物埴輪 鰯ヶ崎三本松古墳出土円筒埴輪	3	流山市生涯学習課	展示
4	H19.11.4	源氏物語色紙貼交屏風	1	学校法人 江戸川学園	資料
5	H19.10.21 ～H19.12.9	吉野家文書複製	1	葛飾区 郷土と天文の博物館	展示 掲載
6	H19.9.2～ H19.10.20	鉄瓶・着物・ランプ・洗濯板等	9	南流山小学校	教材
7	H19.10.1～ 19.10.17	防空頭巾・日の丸寄書・千人針 ゲートル・塩購入券・衣料切符	6	東深井小学校	教材
8	H20.1.23～ H20.2.6	初学読本入門・尋常小学校読本 小学地理他	6	八木北小学校	教材
9	H20.1.30～ H20.2.5	手動計算機・ふいご・天秤棒 石臼他	6	鰯ヶ崎小学校	教材
10	H20.2.27～ H20.4.1	複製ラベル	12	株式会社 グリーンダイナミクス	展示

■ 資料の撮影・転載許可

博物館資料撮影・転載許可

(敬称略)

No.	許可日	資 料 名 称	点数	申 請 者	事由
1	4. 18	写真「利根運河を航行する 蒸気船」	1	岩屋 隆夫	撮影 掲載
2	5. 11	写真「利根運河を航行する 蒸気船」「運河の浚渫」「利 根運河と運河橋」	3	クリエイティブ アダック 株式会社	撮影 掲載
3	5. 25	写真「1960 年代～70 年代 の流山市」	1	テレコムスタッフ	閲覧
4	6. 22	ポスター画像「天晴みり ん」「万上みりん」	2	クリエイティブ アダック 株式会社	撮影 掲載
5	10. 15	東深井古墳群出土の埴輪 ほか	11	流山市教育委員会 学校教育部指導課	撮影 掲載
6	10. 19	吉野誠撮影写真	40	株式会社 郷土出版社	撮影 掲載
7	11. 20	古文書「御地頭所諸用向控 帳」「日記」	2	日野市立新選組の ふるさと館	撮影 掲載
8	1. 8	ポスター画像「天晴みり ん」「万上みりん」	2	S00K 「江戸前の手引き」	撮影 掲載
9	2. 20	絵馬「ばちあたりの仙蔵」	1	ボーイスカウト流 山第5団カブスカ ウト隊	撮影 掲載
10	2. 20	『流山の醸造業Ⅱ』 掲載写真	6	株式会社グリーン ダイナミクス	撮影 掲載

7 協力事業

市内の文化事業団体と協力して次の事業を実施した。

● 第4回 近藤勇忌

主 催：大出俊幸

流山歴史文化研究会

開催趣旨：新選組局長近藤勇が流山で捕縛されたことから、勇忌を開催し、本市の歴史を全国に発信するもの。

期日・内容

平成19年4月4日（日）

13:30 法要（長流寺）

14:00 記念講演（商工会館）

講師 佐藤福子

「新選組と佐藤彦五郎」

● 第2回 利根運河まつり

主 催：流山歴史文化研究会

後 援：流山市教育委員会（博物館）

開催趣旨：江戸川と利根川を結ぶ利根運河は、

明治23年（1890）に開通した。

利根運河は本市における貴重な歴史

文化資源であり、歴史的に価値の高い

ものとして「選奨土木遺産」、「美しい

日本の歴史的風土」準百選に選定され

ている。そこで、市民を対象として講演会を開催し、利

根運河を広く紹介して本市の歴史文化遺産についての理

解を深めた。

期日・内容

平成19年9月23日（日）

14:00 講演会（森の図書館視聴覚室）

講師 岩下 哲典（明海大学教授）

「江戸川の治水とオランダ人技術者

イサーク・アンネ・リンド」



● 第3回 小林一茶まつり

主 催：流山歴史文化研究会

流山市教育委員会（博物館）

開催趣旨：流山は俳人小林一茶がたびたび訪れ、秋元双樹と親交を深めた地である。一茶・双樹及び一茶双樹記念館を広く紹介するために実施した。

期日・内容

平成19年10月21日（日） 一茶双樹記念館

10:00 子ども川柳大会

11:40 紙芝居

12:00 川柳大会表彰式

14:00 講演会

講師 阿部達二

「藤沢周平の一茶」



8 流山市立博物館のあらまし

■ 設置の目的

流山市立博物館の前身である流山市郷土資料館は、流山市市制施行10周年記念事業のひとつで、市立図書館との複合施設として昭和53年6月1日に開館した。用地はかつて、葛飾県・印旛県の県庁が置かれていた流山市加の台地上である。流山市が首都30km圏内に位置し人口が急増する中で、急速に失われていく文化財や郷土資料を保存・展示するためである。それ以前には市史編さん室が文化財保護行政も担当しながら郷土資料室をもち、民具等資料の収蔵・展示も行っていた。郷土資料館はそれをさらに充実拡大するものであった。

■ 沿革

昭和42年	1月1日	流山市市制施行
昭和42年		教育委員会に市史編さん担当がおかれ、文化財保護行政も担当する
昭和49年		流山市の3か年実施計画に市立図書館の構想が盛られる
昭和50年		実施計画のマスタープランに、図書館との複合施設として、郷土資料館が浮上、市制施行10周年記念事業に位置付けられる
昭和51年		市史編さん室設置
昭和52年	4月1日	流山市文化財保護条例施行
昭和52年		コレクター永井仁三郎氏により、資料寄贈の申し入れ
昭和52年	7月15日	郷土資料館開設準備室設置、文化財保護行政は準備室が担当
昭和53年	4月1日	「流山市郷土資料館」公の施設として設置 館長の下に庶務係と学芸係
昭和53年	6月1日	流山市郷土資料館開館 常設展「流山ーその風土と歴史」 「武士と町人ー永井コレクションより」のほか小企画展も開催し、以降毎年企画展を開催する
昭和54年	10月1日	設置条例を改正し、教育機関となる
昭和55年	3月1日	流山市郷土資料館協議会設置
昭和55年	3月20日	博物館法に基づく登録館となる
昭和55年	4月1日	文化財保護行政を社会教育課に移管
昭和56年	4月1日	流山市史編さん審議会条例施行
昭和57年	3月31日	流山市史近代資料編『八木村誌』を刊行し、以降市史資料編を刊行
昭和59年	4月1日	名称を「流山市立博物館」と改称する 教育委員会に部制がしかれ、社会教育部に所属する

- 機構改革により庶務係、学芸係が一本化されて管理係に、市史編さん室が博物館に統合され、市史編さん係となる
- 昭和 63 年 9 月 3 日 永井コレクションを中心にオーストラリア ブロードモドゥ市で「日本文化展」を開催 9 月 30 日まで
- 昭和 63 年 10 月 15 日 企画展『武士と町人ー永井コレクションよりー』を収蔵展に展示替え
- 平成 7 年 4 月 4 日 一茶双樹記念館開館
- 平成 9 年 4 月 1 日 機構改革により社会教育部が生涯学習部となる
- 平成 12 年 12 月 22 日 リニューアル改修工事着手
- 平成 13 年 4 月 1 日 常設展を新たにし、第 2 展示室を設置してリニューアルオープン
- 平成 13 年 10 月 10 日 杜のアトリエ黎明開館
- 平成 14 年 4 月 1 日 一茶双樹記念館及び社会教育ギャラリー（杜のアトリエ黎明）が博物館の所管となる
機構改革により管理係と学芸係となる
- 平成 18 年 4 月 1 日 指定管理者制度の導入により、一茶双樹記念館及び杜のアトリエ黎明の管理・運営が指定管理者となる。
（平成 18 年度指定管理者：㈱グリーンダイナミクス）
- 平成 20 年 3 月 31 日 流山市立博物館協議会の廃止（生涯学習審議会の設置に伴い、協議会の役割を審議会に委ねることとなった。）



流山市立博物館



一茶双樹記念館



杜のアトリエ黎明

■ 施設概要

1 規模

建築面積	1,131.00 m ²
延床面積	2階 720.00 m ²
	3階 960.00 m ²
	R階 72.00 m ²
合計	1,752.00 m ²
敷地面積	4,826.78 m ²
(図書館敷地を含む)	

2 構造

鉄筋コンクリート造り 2階建
(図書館と複合施設)

3 建物設計・監理

ザイマ・サトー建築設計事務所

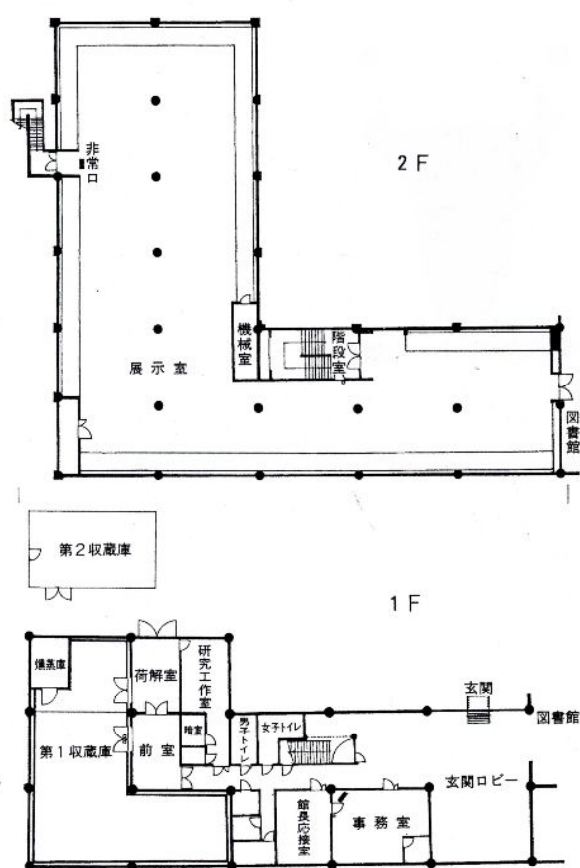
4 建築工事

清水建設株式会社

着工 昭和 52 年 7 月 26 日

竣工 昭和 53 年 3 月 20 日

博物館平面図



5 各室面積一覧

階	室 名	延面積
2階	収蔵庫	384.0 m ²
	荷解室	24.0 m ²
	暗室及び印刷室	8.0 m ²
	研究工作室	32.0 m ²
	前 室	24.0 m ²
	事務室	48.0 m ²
	応接室	27.0 m ²
	整備・機械室	4.6 m ²
	掃除物置及び管理室	11.6 m ²
	男・女トイレ	20.0 m ²
	階段室	12.0 m ²
	廊 下	56.8 m ²
	展示コーナー	20.0 m ²
	ホ ー ル	48.0 m ²
	小 計	720.0 m ²
3階	展示室	916.0 m ²
	第2展示室 (展示室のうち)	(137.0 m ²)
	階段室	32.0 m ²
	ダクトスペース	12.0 m ²
	小 計	960.0 m ²
R	機械室	72.0 m ²
合 計		1,752.0 m ²

6 建物総工費 254,613千円
内 訳

本体工事費	178,269,210 円
電気工事費	28,500,000 円
付帯工事費	
給排水工事費	12,606,000 円
冷暖房工事費	28,064,000 円
小 計	69,170,000 円
その他	
事務費	6,613,000 円
外構工事費	560,790 円
小 計	7,173,790 円
合 計	254,613,000 円

7 資金内訳

国庫補助金	32,000,000 円
県費補助金	32,000,000 円
地 方 債	50,000,000 円
一 般 財 源	140,613,000 円
合 計	254,613,000 円

8 展示設計・施工

日本エキジビション企画プロダクション

9 展示総事業費

46,250千円

10 収蔵庫増設費

19,600千円

11 リニューアル事業費

43,129千円

■ 設備概要

1 電気設備

- (1) 受電設備 3相3線 6,600V 50Hz
- (2) 変圧器 屋外用油入自冷式
- (3) 進相コンデンサー 3相 100KVA 2台
- (4) 予備電源（蓄電池） 12V 120AH

2 空調設備

- (1) 一般系統 冷温水機・空気調和機
- (2) 収蔵庫系統 空冷式空調機・24時間運転
- (3) 展示ケース系統 空冷式空調機・24時間運転

3 放送設備

- (1) 普通用・一般アナウンス
- (2) 非常用

5 防火設備

- (1) ハロン1301 消化設備（収蔵庫）
- (2) 自動火災報知設備
- (3) 屋内消火栓設備

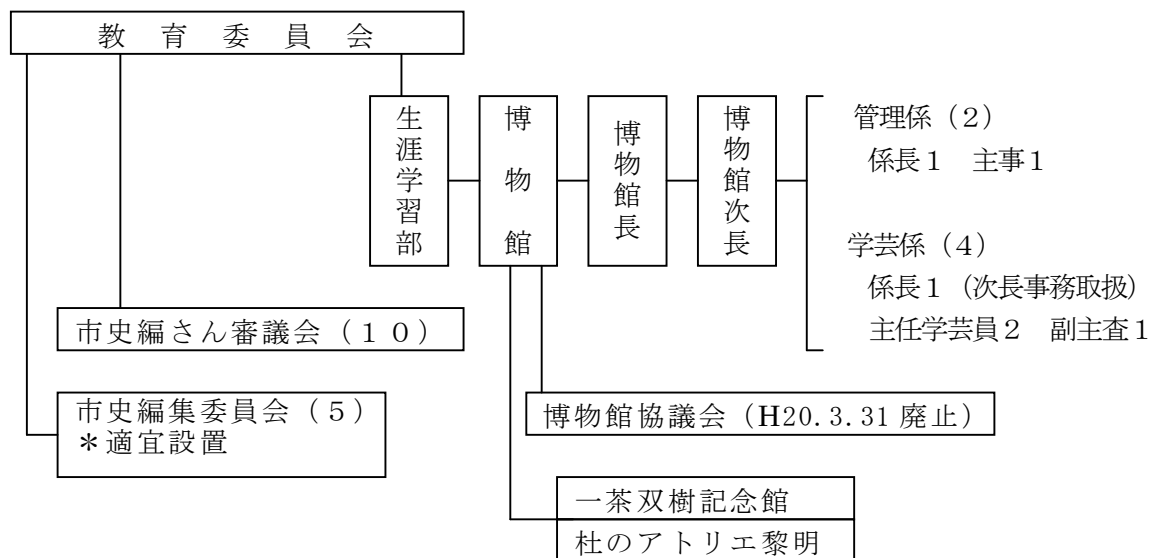
4 昇降設備（収蔵庫～展示室）

積載量 300 kg
か ごと 1m×1m×1.2m(H)

6 防犯設備

総合ガードシステム（委託）

■ 平成 19 年度博物館組織



■ 流山市立博物館協議会委員（敬称略）

区 分	氏 名	役 職	備 考
学 校 教 育	森 収	流山小学校校長	副会長
	坂 口 茂 美	南流山中学校校長	
社 会 教 育	青 木 更 吉	博物館友の会	会 長
	柴 崎 寛 子	流山市美術家協会副会長	
学 識 経 験	下津谷 達 男	元国学院栃木短期大学教授	
	森 尚 登	千葉県立美術館普及課長	
	池 田 哲 朗		
	岩 崎 正 樹		
	折 戸 直 子		
	辻 野 弥 生		

任 期 平成19年5月25日から平成21年5月24日まで

*生涯学習審議会に統合するため、平成20年3月31日を以て解嘱

■ 流山市史編さん審議会委員（敬称略）

区 分	氏 名	役 職	備 考
第 1 号 選 出	家 山 和 夫	元教員・元社会教育指導員	
	小 川 浩	昭和女子大学文学部講師	
	栗 山 秀 純	大正大学教授	会 長
	下津谷 達 男	元国学院栃木短期大学教授	
	堀 部 昭 夫	元千葉県立現代産業科学館副館長	副会長
	青 木 更 吉	地域史研究家	
	鈴 木 仲 秋	江戸川短期大学名誉教授	
	村 田 一 二	千葉県総合教育センター嘱託	
	山 田 友 治	東京工芸大学教授	
第 2 号 選 出	松 本 好 夫	図書館長	

任 期 平成18年5月16日から平成20年5月15日まで

■ 流山市編集委員会委員（敬称略）

氏 名	役 職 名	備 考
小 川 浩	昭和女子大学講師	会長・監修
石神 裕之	慶應義塾大学准教授	原始・古代・中世
中山 文人	松戸市立博物館学芸員	中世
猪 股 寛	野田市立郷土博物館学芸員	近世
松丸 明弘	千葉県立東葛飾高等学校教諭	近代・現代

任 期 平成20年3月13日～平成22年3月31日まで

■ 職員（平成19年度）

館 長：川根 正教

次 長：山口 憲彦

管理係 係 長：菊本 孝

主 事：吉田 丈展

学芸係 係 長：山口次長事務取扱

主任学芸員：増崎恵美子・遠山 仁恵

副 主 査：横尾 伸一

■ 臨時職員

一般事務（管理係） 1 人

資料調査員（学芸係） 3 人

資料整理員（学芸係） 3 人

企画展監視員（学芸係） 4 人(第1回2人 第2回2人)

9 一茶双樹記念館利用状況

■ 一茶双樹記念館入館者数

流山市流山 6 丁目 670-1 04-7150-5750

月	一般 個人	一般 団体	小中 個人	小中 団体	割引	免 除	観覧者 合 計	施 設 使用者	入館者 合 計
4 月	393 人	44 人	17 人	0 人	0 人	147 人	601 人	317 人	918 人
5 月	286 人	0 人	6 人	0 人	0 人	241 人	533 人	245 人	778 人
6 月	229 人	0 人	3 人	0 人	0 人	115 人	347 人	205 人	552 人
7 月	144 人	0 人	4 人	0 人	0 人	92 人	240 人	231 人	471 人
8 月	190 人	0 人	17 人	0 人	0 人	105 人	312 人	31 人	343 人
9 月	249 人	5 人	9 人	0 人	0 人	245 人	508 人	337 人	845 人
10 月	270 人	88 人	5 人	0 人	0 人	132 人	495 人	201 人	696 人
11 月	247 人	126 人	4 人	0 人	0 人	332 人	709 人	135 人	844 人
12 月	152 人	33 人	6 人	0 人	0 人	72 人	263 人	25 人	288 人
1 月	196 人	0 人	6 人	0 人	0 人	138 人	340 人	233 人	573 人
2 月	223 人	0 人	5 人	0 人	0 人	114 人	342 人	35 人	377 人
3 月	317 人	117 人	17 人	0 人	0 人	399 人	850 人	29 人	879 人
合 計	2,896 人	413 人	99 人	0 人	0 人	2,132 人	5,540 人	2,024 人	7,564 人

10 杜のアトリエ黎明利用状況

■ 杜のアトリエ黎明利用状況 流山市流山6丁目 562-2 04-7150-3536

月	作品展	行事	会議	その他	合計利用件数	利用日数	入館者合計
4月	3件		2件		5件	26日	651人
5月	3件	1件			4件	22日	956人
6月	3件	1件			4件	22日	524人
7月	2件		1件		3件	25日	247人
8月	2件	1件	1件		4件	27日	684人
9月	3件		2件		5件	25日	621人
10月	4件	1件	1件		6件	26日	982人
11月	3件		1件		4件	26日	701人
12月	3件	2件	2件		7件	21日	355人
1月	1件	1件	2件		4件	16日	580人
2月	2件	1件	2件		5件	18日	677人
3月	1件				1件	26日	615人
合計	30件	8件	14件	0件	52件	280日	7,593人

11 博物館友の会活動状況

平成19年度の活動経過を報告いたします。

前年に引き続き、文章、朗読、川柳の3講座は新会員を迎えてそれぞれ盛況であります。

出版関係では「東葛流山の聞き書き」を特集した『東葛流山研究26号』を3月に発行しました。会報『におどり』も81号、82号、83号と発行しました。特別企画ではわいわい討論会、近藤勇忌、ミニ研究会等を実施いたしました。歴史散歩では相原さんの「東葛歴史散歩」、山本、村越さんの「木下河岸散歩」と「講演会」、中村さんの東京の歴史建造物散歩、新保さんの「おおたかの森散歩」の他、「東葛路上観察会」「野田の博物館めぐり」、浅利さんの出版記念会などがありました。山本鉦太郎さんの「アンコール奥の細道」も4年目を迎え、金沢から大垣までついに歩き終わりました。その他、恒例の忘年会では「私の宝物」の新企画、新年会では子年にちなむクイズや地名しり取り合戦などを織り込み、今年も思い出深い一年となりました。

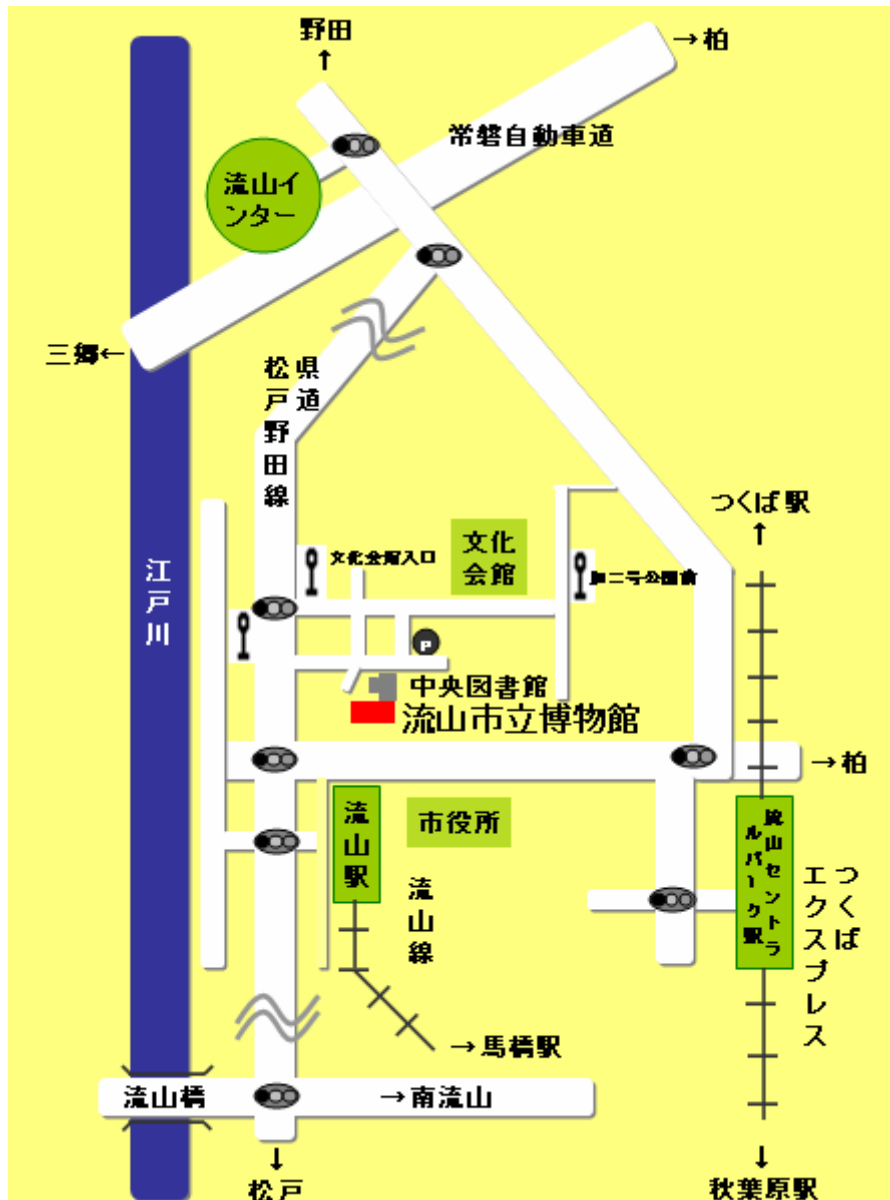


旧近衛師団司令部庁舎前

● 1年間の足跡 （毎月の記事、朗読、川柳の3講座は省略）

- 19. 4. 1 友の会拡大幹事会 『東葛流山研究第25号』配本
- 19. 4. 8 第4回勇忌と講演会（主催：大出俊幸）
- 19. 4. 29 総会 北野道彦賞（梧桐賞は該当者なし）
- 19. 5. 25～27 アンコール奥の細道の旅（講師：山本鉦太郎）
- 19. 6. 15 におどり81号発刊
- 19. 6. 23 東葛歴史散歩（講師：相原正義）
- 19. 7. 28 流山わいわい討論会（司会：奥田富子）
- 19. 8. 26 路上観察会（柏編）（講師：山本鉦太郎・相原正義・青木更吉）
- 19. 9. 23 東京の歴史的建造物散歩（講師：中村哲夫）
- 19. 10. 15 におどり82号発刊
- 19. 10. 21 野田博物館めぐり（講師：相原正義・関本いずみ・飯野嘉子）
- 19. 11. 18 木下河岸歴史散歩と講演会（講師：山本鉦太郎・村越博茂）
- 19. 12. 16 爆笑忘年会（小倉ホール）
- 20. 1. 12 浅利ミチさんの出版パーティー（割烹新川）
- 20. 1. 14 友の会新年会（下花輪ホットプラザ）
- 20. 2. 10 激変するおおたかの森周辺を歩く（講師：新保国弘）
- 20. 2. 15 友の会幹事会（北部公民館） におどり83号発刊
- 20. 3. 1 東葛流山研究26号発刊
- 20. 3. 9 友の会ミニ研究会（北部公民館）

交通のご案内



- 交通：〔電車〕JR馬橋駅又は新松戸駅より流山線に乗換
流山駅下車 徒歩7分
つくばエクスプレス流山セントラルパーク駅下車 徒歩20分
〔バス〕京成バス（文化会館入口下車） 東武バス（加二号公園前下車）
〔自動車〕県道松戸野田線流山中央交番前
- 開館時間：午前9時30分から午後5時00分まで
- 休館日：毎週月曜日（国民の祝日が月曜日の場合はその翌日）
毎月月末の日（但し、月末の日が土・日曜日の場合は除く）
年末年始、その他臨時休館があります。
- 入館料：特別展を除き入館料は無料です。
特別展（大人 210円、小人 100円）
但し、団体など減免制度がありますので、お問い合わせください。